



当社が修理を実施した
国宝・羽黒山五重塔

- 本社所在地：山形県山形市
- 事業概要：当社は、山形を拠点とし、寺社を中心とした伝統木造建築、マンション、オフィスビル、学校、病院などの現代建築、さらに土木事業と、設計から施工まで一貫して行う総合建築業者です。
- 常時使用する従業員：92人（グループ全体・2025年2月期）
- 現在の売上高：56億円グループ全体・2025年2月時点
- 法人番号：1390001000133
- Web：https://ichicom.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
今野 雄貴

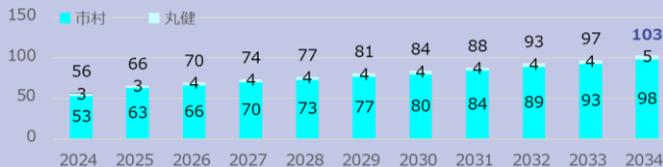
最高のものをつくろう

株式会社市村工務店は、「挑戦し続ける 成長し続ける 貢献し続ける」を経営理念に掲げ、最高のものづくりに日々取り組んでいます。私たちは建築という仕事を通じて、山形の未来を創る一翼を担い、地域社会の発展に貢献します。このビジョン実現のため、人材の採用と育成、労働環境の整備と待遇改善、そして地域社会への投資を推進してまいります。100億企業へと成長を遂げることで、業界を強く牽引する存在となり、地域に不可欠な建築物をより多く手がけ、それが地域の発展や課題解決に寄与するものと確信しています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上100億円達成に向け、採用強化、労働環境の整備、新規事業の立ち上げを通じて年間5%以上の成長率を実現する。



課題

- ①非効率な労働環境（丸健社屋）
- ②人員不足や木材の供給量不足による受注機会の逸失
- ③採用試験受験者数の停滞
- ④地域に非開放的なオフィス（市村工務店本社）
- ⑤独自コンテンツ「大工ミュージアム」のPR

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①丸健の新工場移転による資材生産の効率化と労働意欲の向上
- ②市村工務店社屋のカフェ等を含むリニューアルと大工ミュージアムの有効活用によるコアなファン層の醸成
- ③労働環境の改善とイメージアップによる採用希望者増の実現

グループのブランディングを強く推進することで、工事の受注と採用者数が増加し、100億企業、東北建築No.1企業へと成長する。

実施体制

- ・工場移転と社屋リニューアルは、デザイナーで東北芸術工科大学学長の中山ダイスケ氏と協業して進める。運用を含めたブランディングについては(株)文継からの支援体制を整備。
- ・市村工務店と丸健が連携し新工場での生産状況を確認し、必要があれば改善できる体制とする。
- ・市村工務店では、ブランディング委員会が窓口となり社屋の広報活動を行い、総務部門で、施設の使用状況を把握。各部門が共同して目標達成を図る。

売上高100億円実現の目標と課題

株式会社丸健
【木造建築工事業】

株式会社市村工務店
【総合建設業】

* (株)丸健と(株)アインアセットはいずれも(株)市村工務店の子会社

株式会社アインアセット
【不動産業】



(株)丸健と(株)アインアセットはいずれも(株)市村工務店の子会社です。丸健は2019年に現代の名工を受賞した樋口岳美氏を始めとする宮大工集団であり市村工務店のルーツとなっている会社です。また、アインアセットは2024年に市村工務店の不動産業務拡大のためにM&Aで取得した会社です。市村工務店は明治25年創業以来130余年、多くの実績と歴史を有する会社で、建造物では山形県内唯一の国宝である「羽黒山五重塔」の保存改修工事など、山形県を代表する多くの建築物の工事に携わっております。さらに、今後も山形県をホームタウンとするJリーグのサッカークラブ「モンテディオ山形」の新スタジアムの建設や山形市新市民会館整備事業など、今後の山形を創る仕事に向けて歩みを進めてまいります。

課題

- ①非効率な労働環境
グループ会社「丸健」は社屋の立地や設備に課題があり、作業が非効率で生産量を増やすことができない。
- ②受注機会の逸失
施工管理技術者を中心とした社内の人材不足により、受注可能な仕事を請け負えない。
- ③採用試験受験者数の停滞
毎年採用試験を実施しているが、受験者が数名程度で、慢性的な新卒採用不足に陥っている。
- ④地域に非開放的なオフィス
地域防災倉庫を敷地内に設置するなど地域交流の活性化を図ってきたものの、未だに気軽に訪問しやすいオフィスになっていない。
- ⑤独自コンテンツ「大工ミュージアム」のPR
歴史的建造物の模型や大工道具を展示する「大工ミュージアム」有しているが、利用率が低く十分なPR効果が得られていない。

目指す成長手段

- ①労働環境の効率化と労働意欲の向上
丸健の社屋を移転新築することで、大工の労働環境を改善し、生産性向上と安全性とモチベーションアップを目指す。
- ②魅力的な職場提供
カフェラウンジの新設と大工ミュージアムのリニューアルにより地域で話題となるオフィスになること、また打合せスペースの新設により働きやすい環境が整備され、求職者の入社要因の一つとなることで採用が促進される。
- ③社屋リニューアルによるカフェラウンジの新設
地域に開かれたオフィスにすることで、地域交流の活性化や自社ブランドイメージの向上を図ると共に社員の福利厚生にも寄与する。
- ④大工ミュージアムを活性化
大工ミュージアムのコンテンツを最大限引き出すデザイン性に溢れた空間を創出し年間利用率を高めることで、当社のブランディングを強化する。また、建築業の魅力を発信する施設とすることで担い手不足解消を図る。